

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 10 月 6 日

事務事業名		男女共同参画推進事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	010502000274
総合計画の施策名		0105 人権尊重のまちづくり				単独/補助	単独	所属課	000101
政策名		01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				主要事業	対象外	総合戦略室	
施策名		05 人権尊重のまちづくり				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		02 男女共同参画の推進				未来PJ事業	対象外	グループ	総合戦略G
		合併建設計画事業				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
01	02	01	13	01	00		単年度繰返し (平成17年度~)		
法令根拠						男女共同参画事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
男女共同参画社会 (男女が社会の対等な構成員として互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、個性と能力を發揮できる社会) を実現するため、意識啓発や女性リーダーの育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、セミナー等の企画立案 啓発チラシ等の作成、配布 女性リーダー育成の場の提供 各種研修会への参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 講演会、セミナー等の企画立案 啓発チラシ等の作成、配布 女性リーダー育成の場の提供 各種研修会への参加 	講演会、セミナーの回数	回	8.00	1.00	8.00	10.00	0.00
	啓発チラシの配布回数	回	5.00	1.00	5.00	5.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民	人口	人	42,651.00	42,000.00	41,679.00	41,193.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
男女平等意識の醸成	男女が平等と思う市民の割合	%	19.10	24.80	22.00	24.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	24	92	427	150	0	
	事業費計 (A)	千円	24	92	427	150	0			
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人	/		
	述べ業務時間	時間	0.00	270.35	0.00	0.00	0.00			
	人件費計 (B)	千円	0	784	0	0	0			
トータルコスト (A)+(B)			千円	24	876	427	150	0		

28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)				
08 報償費	80			01 報酬	285			
11 需用費	12			08 報償費	90			
				11 需用費	52			
合計				92	合計			
				92	427			

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業No.	10502000274	所属課	総合戦略室
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成11年度に男女共同参画社会基本法が制定されたことに基づき、各自治体とも男女共同参画社会の実現に向け事業を開始した。桜川市においても平成20年3月に男女共同参画推進プランを策定し、意識啓発を基本に事業を進めてきた。近年は、若い女性において専業主婦を希望する傾向が高まりつつあるが、女性の働きやすい環境整備を進める方向性も示されている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

各種審議会や委員会など政策・方針決定の場への女性登用、役所内の管理職への女性登用を望む声がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

セミナー等への男性の参加率が低く、男性の男女平等、男女共同参画の意識はまだ低い傾向にある。男女共同参画を推進するためのリーダーの育成や、各種審議会等への女性登用を促すことにより、意識を高めていく必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input type="text"/>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input type="text"/>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="text"/>
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input type="text"/>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名	<input type="text"/>
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="text"/>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input type="text"/>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																								
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>